

買ったばかりの傘を無くしたあたりで
斑模様になった路地裏
吸い込んだ 吸い込んだ

なんとかなるか はたまた呆けたままか
いつになればこんな朝は
終わるんだ 終わるんだ
滴った街から夜を待つのを

さざめいたまま 通り過ぎてゆく
指先は触れたままで
Don' t rain anymore for me.
足りないことばかりだな

やぶさかではない 暖簾を眺めていたら
まどろんだ輩がふらふら
のみたいな のみたいな

躓いたふりして朝を待つだろう

横目にうつる 昨日と同じ景色
あの子は今笑ってるかな
I don' t want to see you crying.
眠ることを恐れないで

行き場のない日々を流し込んだら
逆さまに見える君を信じたい

さざめいたまま 通り過ぎてゆく
指先は触れたままで
Don' t rain anymore for me.
足りないことばかりを忘れてしまえよ
そのうち晴れたら会いに行く